

タイ・ワットパクナム住職

ソムデット就任祝う祝賀会

パクナム会の黒田会長ら参列

タイ国の首都バンコクのトンブリ地区にある、タイ最大の民間寺院ワットパクナムの住職が、最高位の大僧正に次ぐ高僧の位「ソムデット（権大僧正）」に就任し、その祝賀会が五月十一日、十二日の両日、ワットパクナムで国内外からの参列者を集めて盛大に開催された。日本からは同寺で修行した人たちの集まりの「パクナム会」（黒田武志会長）や、縁のある真如苑の代表らが参列した。

タイには、王室が建てて保護している王室寺

院（ワットルワン）と、庶民が建てた民間寺院（ワットラート）がある。ワットパクナムはチヤオプラヤ・メナム（いわゆるメナム河）の畔にあるタイで最大の民間寺院。瞑想修行の寺として知られ、戦後、ここで修行した日本人は約八十人にもものぼり、深い縁で結ばれている。

タイの仏教教団の構成は、最高位がソムデットプラサンカラート（大僧正）で一人。この下にソムデット（権大僧正）が八人いる。ワットパクナムの住職はプラタム・パンヤー・ボディ

Wat Paknam Bhasicharoen
Bangkok 10160
Thailand

16 April 2539 / 1996

Wat Paknam has arranged ceremonies to celebrate the elevation of our Lord Abbot to the rank of Somdet, with the new official name of Somdet Phra Maharejamongalacaraya.

The dates fixed for these ceremonies are 11 - 12 May 2539. Wat Paknam takes pleasure in inviting

Venerable Kuroda

for lunch on 12 May 2539 at 11 o'clock in the morning at the Sala Karn Parian, Wat Paknam.

It is hoped very much that you will be able to attend.

Yours in the Dhamma,

(พุทธโศภิต)

(Phra Devasudhi)

Deputy Abbot, Wat Paknam Bhasicharoen

という人で、これまではチャオクン・チャンピセート（中僧正）の位にあり、大長老会議のメンバーとして高僧の一人に数えられている。

祝賀会への案内はパクナム会の会長である曹洞宗善光寺の黒田武志住職のもとへ届き、黒田住職の呼びかけでパクナム会の会員ら十六人が駆けつけた。二日間にわたって祝賀会の模様を見た高野山堀川別院の佐々木弘伝主管（京都市）は「外国からはスリランカの長老やベトナム、カンボジア、韓国などから四十人近くの人たちが来ていた。日本からは弟子の私たちや真如苑の代表三人がゲストとして出席した」と話している。

佐々木主管によると、千人を超す僧侶による供養が行われ、昼食の時間をはさんで在家の信者らが次々に住職のもとに集まった。僧たちは短いお経を読み、供養のしるしに三衣が配られた。祝いに訪れた人たちは一般の在家信者とも

とより、首相や政府の高官らも列をなした。

二日間ともワットパクナムは手に香と燭と花をもった人たちの波であふれた。住職に直接会って祝いの言葉を述べたり、供養を受けたりできる人は限られ、三カ所に分かれて別の僧侶が住職に代わって対応した。

行列は朝早くから夜遅くまで続き、プラタン・パンヤーボデイ住職の徳望を物語っていたという。

祝賀会参列者芳名（敬称略）

佐々木弘伝・真言宗高野山堀川別院／京都市
石附 周行・曹洞宗雙林寺／群馬県
渡辺 清孝・曹洞宗高德寺／栃木県
永崎 亮寛・真言宗高野山大学／和歌山県
従野 公淳・日蓮宗本乗寺／横浜市
浦上 隆康・真言宗巴陵院／和歌山県
資延 憲英・真言宗真言寺／北海道深川市
田中 智誠・黄檗宗正瑞寺／滋賀県
山本 浄月・臨済宗退耕院／岐阜県
山田 春子・同 右
三宮 陸穂・浄土宗優婆寺内／青森県
大森 昭祥・曹洞宗大長寺／神奈川県
遠藤太嘉志・東京都（前・アメリカン航空勤務）
遠藤能理子・東京都中央区
五十嵐千彦・東京都町田市（カメラマン）
黒田 武志・曹洞宗善光寺／横浜市